



山元町が元気になるアートプロジェクト

～復興への壁画作り～

企画・アートワークショップ・デザインプロデュースの経過報告

JR 常磐線の移転復旧、新しい山下駅、坂元駅の完成は 2016 年 12 月頃の予定です。

最近完成予定が早まり、地域の皆さんもポラリスも、ますますこの駅の復旧をワクワクして待っています。

その山下駅完成より少し早い 2016 年秋に、駅の隣にスーパーマーケット フレスコキクチのオープンを進めている株式

会社キクチ菊地社長から、この度ポラリスのアートなお仕事の応援をいただけることになりました。

駅のロータリーとスーパーとの間に作る高さ 2m、長さ 35mの塀に「山元を元気にするアート」を描くお仕事です。

これは、私たちポラリスが進めていきたい「アート」で地域に貢献する絶好のチャンスです。

しかし、壁画を描く経験がまだありません。

そのため、全国の障害者アートの支援をし、壁画プロジェクトの実績を持っている N P O 法人エイブル・アート・ジ

ャパンに連携をお願いし、また地域の応援してくださる方々にも参加をお願いし、「被災地山元町が元気になるアート

プロジェクト～復興への壁画作り～」というテーマでこのお仕事をすすめていきたいと考えました。

障害を持つ人も持たない人も、共に考え合って町のシンボルを作り上げて行った時、山元町は優しくてしなやかな町に

なっていくと期待します。

財団法人まちづくり地球市民財団「まちづくり」応援助成金のご支援を受け、このプロジェクトの企画、アートワークショ

ップ開催、デザイナーによるデザインプロデュースまでを進めることが出来ました。その経過をご報告いたします。

■助成 財団法人まちづくり地球市民財団「まちづくり人」応援

助成金

■協力者や協力団体等

- ① **㈱キクチ代表取締役社長菊地逸夫氏（相馬市）**・・・この度の壁画アート制作を依頼して下さる。企画や進め方についてご相談させていただく。
- ② **NPO法人エイブル・アート・ジャパン（東京都）**・・・「社会の芸術化、芸術の社会化」をキーワードに活動するNPO法人。アートを通して、誰もが豊かに生きることのできる地域社会作りを目指しており、今回のプロジェクトで、これまで実践してきた壁画アート制作のノウハウをもってワークショッププラン作成やそのワークショップでのファシリテーター役をしてもらう。
- ③ **山元町歴史民俗資料館（山元町）**・・・山元の歴史を学ぶための資料について相談。必要な資料をワークショップに貸し出ししてもらい、きりこアートの参考にする。
- ④ **清水ますみさん（東京都）**・・・合戦原遺跡など考古学を知るボランティア。一緒に山元の歴史をさぐり、山元の魅力を伝えるボランティア講師となってもらう。
- ⑤ **菊地文武さん（山元町）**・・・元社会科教師。山元の歴史を知る第一人者。山元の古代から現代までの歴史について、ご指導いただく。
- ⑥ **山元民話の会（山元町）**・・・山元の文化や歴史の語り部グループ。山元の過去・現在・未来がわかる地域住民代表である。ワークショップの前にお話を聞き、その上でワークショップを進めたいと考える。
- ⑦ **山元の未来への種まき会議（山元町）**・・・町内で地域活性化や復興に向けての活動を行っている個人・団体等の情報交換の会議の場。希望する有志にこのプロジェクトへの参加を促す。

- ⑧ 一般社団法人ふらっと一ほく（山元町）・・・地域づくりをしている若者にも一緒に山元の歴史から復興へのヒントをさぐり、アート化にも協力もらう。
- ⑨ 株GRA（山元町）・・・アートワークショップに会場提供。山下駅から歩いていけるイチゴ狩りのスポットになる。山元の発展する未来を表現してもらう。
- ⑩ 山下中学校美術部（山元町）・・・山元の歴史を学ぶ機会をつくり、アートに参加し、そのことをきっかけに地域に愛着を持ってもらいたい。
- ⑪ 坂元神楽・坂元おけさ・風雲乱打夢など伝統芸能の団体（山元町）・・・壁画アートに表現するため、その活動について紹介してもらう。

協力者・協力団体の写真



▲(株)キクチ社長のございさつ
ん（写真中央）

▲清水ますみさん（写真左）・福井恵子さん

▲菊地文武さん



▲山元民話の会 代表庄司アイさん

▲坂元おけさの代表 森洋子さん

▲坂元神楽 荒利夫さん



▲山下中学校美術部の皆さん

□和太鼓グループの岩見さん

▲地域の女性



▲エイブル・アート・ジャパン代表理事 柴崎さん
カ

▲山元町歴史民俗資料館より資料協

■運営者

・企画・事務・広報（記録）担当 3名（ポラリススタッフ） 田口ひろみ 刈田路代 品堀学

※ワークショッププラン作成業務一式（エイブル・アート・ジャパン）

※ファシリテーター業務一式（エイブル・アート・ジャパン） 柴崎事務局長

※アートのデザインプロデュース業務一式（デザイナー） 福井恵子氏



▲山元町内視察



▲前日の会場準備と打ち合わせ

■今回の活動や運動が地域のまちづくり活動の活性化に どのようにつながるのか？

本プロジェクト「復興壁画アート」はこれからの町づくりをポジティブに考え合うきっかけとなる。被災地では、深刻な地域課題も様々あるが、このアート活動は、意識的にポジティブに創造してみる。子供や障害者をはじめ様々な立場の方がつながって、わが町にとっての夢と希望を語り合い、それがアート化された時、町民は主体的にポジティブに町づくりを考えて行くことの大切さを実感すると思う。そして、民間だからこそできる自由な発想のプロジェクトが進み成功した時、行政と地域住民のこれまで以上の可能性をお互いが実感し、山元町は魅力的な町になっていくと期待する。

■山元の歴史について学んだ様子

11月3日（祝）ポラリスメンバー山元町歴史民俗資料館見学



11月24日（火）山元の歴史勉強会での打ち合わせ



■ 11月29日 きりこアートワークショップの様子

京都のデザイナー 福井恵子さんをお招きし、山元の歴史・民俗・自然をキリコという手法を使って表現することにチャレンジしていただきました。山元を知るために、はじめに、やまもと民話の会から「座頭橋」「片葉の葦」などの民話を語っていただきました。さらに、山元の古代から江戸時代までを、歴史に詳しい地域のボランティア 清水ますみさん、菊地文武さんにお話してもらい、福井さんにそれを聞いて自分がつくってみたいものをどうキリコにしていくかアドバイスをいただきながら、それぞれが作っていきました。美術部の中学生、絵を描くのが大好きな支援学校中等部の生徒、ポラリスアーティスト、地域の参加者、などなど皆さんが対話と学びの中から素敵なキリコを制作してい



きました。

▲アートワーク

ショップ プログラム



▲きりこについてやり方の説明

の様子



▲ポラリスメンバーはじめ参加者



▲できた作品の紹介
めのミーティング



▲ワークショップ終了後のまとめ

■ワークショップ参加者

ポラリスアーティスト 13名 家族 5名

(株)キクチ 1名 (社長)

歴史についてのアドバイザー (清水ますみ、菊地文武)

山元民話の会 (代表: 庄司アイ、萱場裕子)

山元の未来への種まき会議 (代表: 岩見圭記)

山下中学校美術部 5名 山元支援学校中学部 1名

地域の若者 1名 (ふらっとーほく代表: 阿部結悟)

産業振興関連 (GRA: 橋元洋平) 町内外の協力者、その他 14名

スタッフ 7名

合計 53名

■今後についての打ち合わせ 11月29日 午後1時～3時

出席者 : エイブル・アート・ジャパン 柴崎・武田 デザイナー 福井恵子
民話の会 庄司アイ・萱場裕子 清水ますみ 菊地文武
ポラリス 田口・品堀・刈田

内容

① 今日の制作物を踏まえて、12月中旬までポラリス、坂元おけさ、山下中学校美術部でさらに加えるべきものを制作する。

(合戦原遺跡) 須恵器・線刻壁画・舟・遺跡・

(座頭橋) 橋・琵琶・座頭さん親子

(八重垣神社) 黒松並木・鳥居・お天王さんまつり (おみこし・ふんどしのひと)

(坂元民俗) 神楽・お面・ひと・おけさ

(自然) ひよどり・山・ひと・いちご・りんご・ぶどう・白鳥・つばめ

(その他) サーファー・電車・家・スーパー・学校・ヨット・JR常磐線・ポラリス

ミドリ色は、山中美術部に依頼。 赤色は坂元おけさに依頼。

② ①をスキャンしてUSBにデータ保存する。さらにカラーでプリントアウトして、12月末まで福井さんに送る

③ 制作に携わった人たちの名前を入れたい (講師も含む) 参加者一覧と自筆のサインの両方ほしい

④ 八重垣神社の藤波さんに、震災前の神社の写真を借用する。

